



2012年9月期 第2四半期決算説明会資料

2012年5月10日
代表取締役社長 今井博文

富士製薬工業株式会社
(4554/東証2部)



目次

- 2012年9月期 第2四半期決算概要および通期予想 P3～14
 - 第2四半期決算及び通期予想サマリ P3～4
 - 薬効別売上高 P5
 - 主要製品売上高 P6
 - X線造影剤売上げ推移 P7
 - 医療領域・投与経路別売上高 P8
 - 貸借対照表概要 P9
 - キャッシュ・フロー計算書概要 P10
- 中期ビジョン P11～13
 - 中期ビジョン 2015年の姿 P11
 - 中期ビジョンに向けた取組み P12
 - 中期経営計画 P13
- ＜参考資料＞ 当社の事業/業績トレンド P14

2012年9月期 第2四半期決算および通期予想サマリ

- X線造影剤売上高前年比913百万円減少、流通在庫1.4ヶ月削減
- 売上原価率2.9%上昇、新工場棟の固定費増加と本稼働半年遅延
- 経口避妊剤GE薬の新製品ラベルフィーユ錠発売時期を半年延期
- 第1四半期に退職給付債務の増加額364百万円を特別損失に計上
- 2012年4月の薬価改定率はマイナス7.7%、期首想定若干下回る

➔ マイナス要因は全て処理済み、今後は売上・利益ともに伸長

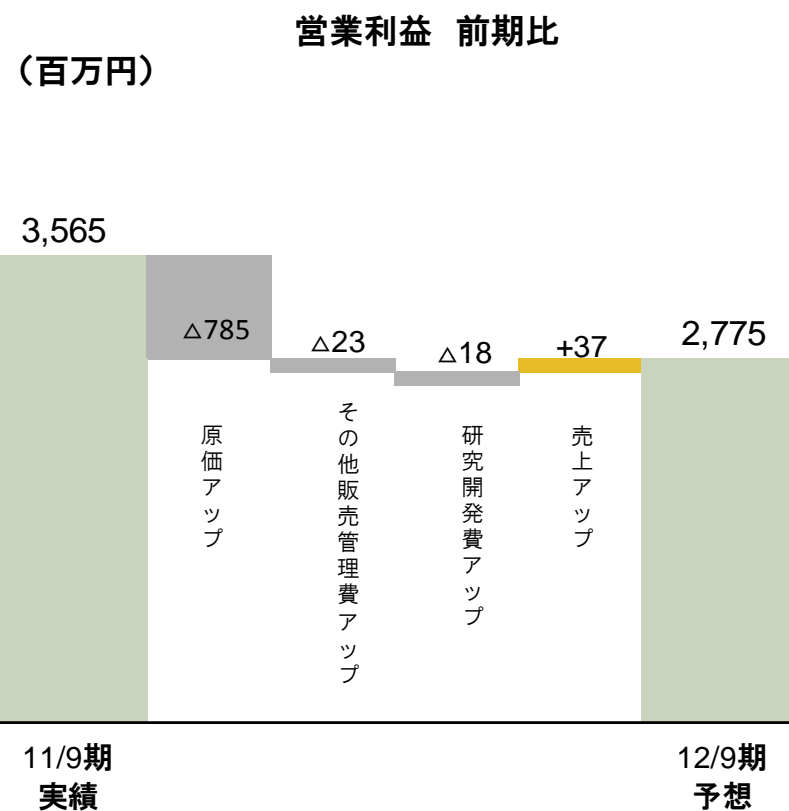
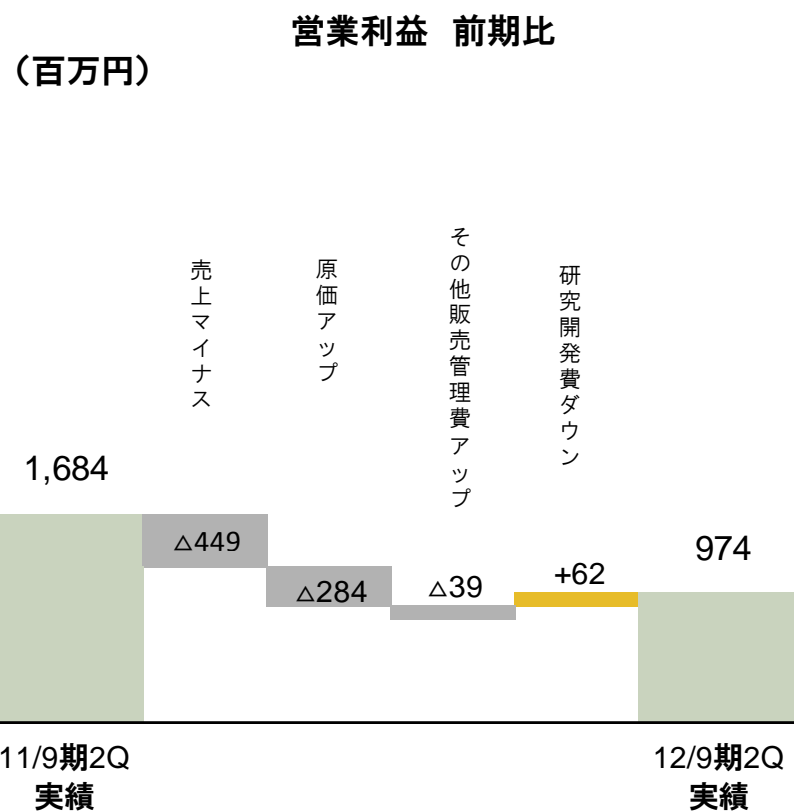
【ご参考】

(百万円)	11/9月期			12/9月期			前上半期比		12/9月期	当初予想比
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期 予想	通期 予想	増減額	増減率	当初予想	増減額
売上高	10,745	10,878	21,623	9,779	11,921	21,700	△ 966	-9.0%	23,487	△ 1,787
売上総利益	5,001	5,298	10,299	4,267	5,273	9,540	△ 734	-14.7%	10,683	△ 1,143
粗利益率	46.5%	48.7%	47.6%	43.6%	44.2%	44.0%			45.5%	-
販売管理費	3,316	3,418	6,734	3,293	3,482	6,775	△ 23	-0.7%	7,158	△ 383
販売管理費率	30.9%	31.4%	31.1%	33.7%	29.2%	31.2%			30.5%	-
営業利益	1,684	1,881	3,565	974	1,801	2,775	△ 710	-42.2%	3,524	△ 749
営業利益率	15.7%	17.3%	16.5%	10.0%	15.1%	12.8%			15.0%	
経常利益	1,686	1,859	3,545	977	1,803	2,780	△ 709	-42.1%	3,528	△ 748
経常利益率	15.7%	17.1%	16.4%	10.0%	15.1%	12.8%			15.0%	
当期純利益	1,039	1,165	2,204	313	1,092	1,405	△ 726	-69.9%	1,986	△ 581
当期純利益率	9.7%	10.7%	10.2%	3.2%	9.2%	6.5%			8.5%	
ROE			11.3%			6.5%				
1株当たり当期純利益			167.63			99.50	△ 68.13	-40.6%	140.65	△ 41.15
設備投資額	1,682	1,731	3,414	507	2,791	3,298	△ 1,175	-69.9%	3,298	0
減価償却費	454	567	1,021	602	702	1,304	148	32.6%	1,304	0
設備リース費	151	127	278	173	249	422	22	14.6%	422	0
研究開発費	768	747	1,516	706	828	1,534	△ 62	-8.1%	1,668	△ 134
研究開発費率	7.1%	6.9%	7.0%	7.2%	6.9%	7.1%			7.1%	

2012年9月期 第2四半期決算および通期予想サマリ

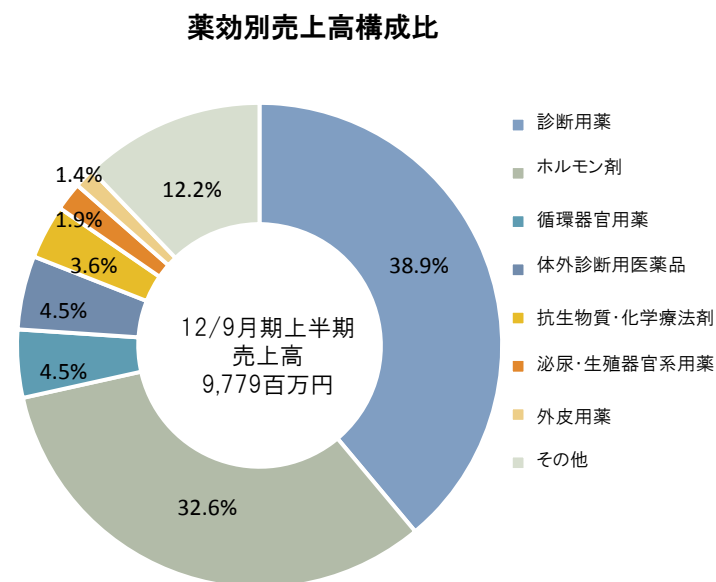
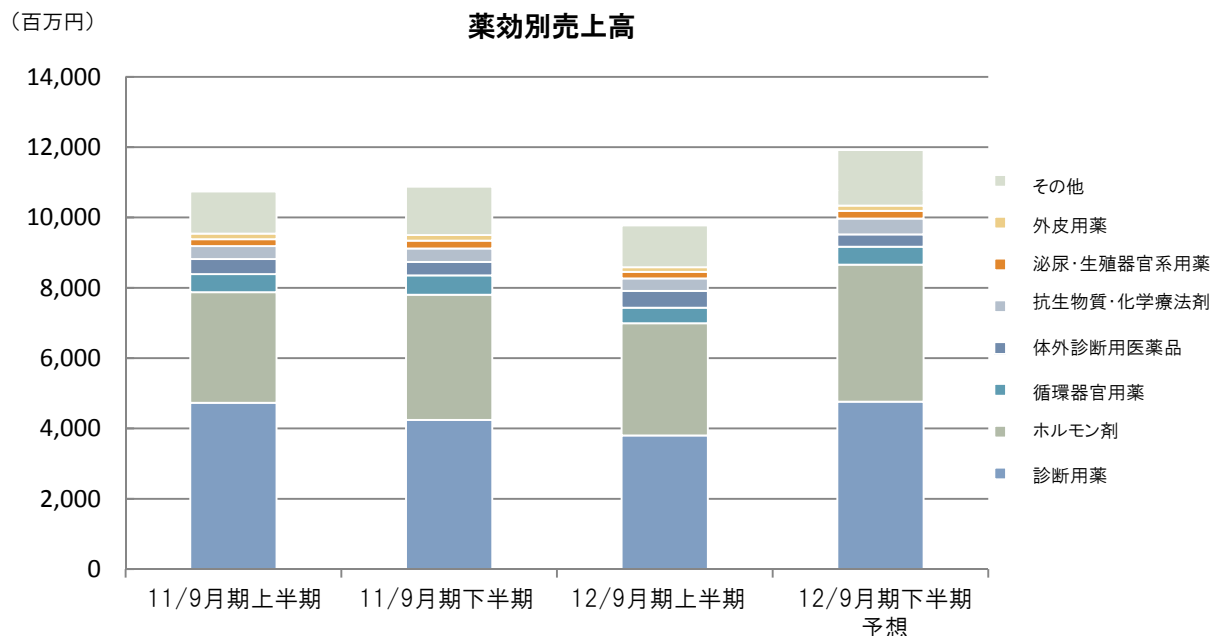
● 当期営業利益予想 前期比増減のポイント

- 売上計画、生産計画の未達
- 新工場棟の本稼働の遅延
- 償却費等の固定費の増加
- 薬価改定、仕切価格値下げ



薬効別売上高

(百万円)	11/9月期			12/9月期			前上半期比		通期予想前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期 予想	通期 予想	増減額	増減率	増減額	増減率
診断用薬	4,732	4,245	8,978	3,803	4,760	8,565	△ 929	-19.6%	△ 413	-4.6%
ホルモン剤	3,146	3,558	6,704	3,188	3,900	7,090	42	1.3%	386	5.8%
循環器官用薬	513	553	1,067	443	510	955	△ 70	-13.6%	△ 112	-10.5%
体外診断用医薬品	429	380	810	480	350	830	51	11.9%	20	2.5%
抗生物質・化学療法剤	369	383	752	353	450	803	△ 16	-4.3%	51	6.8%
泌尿・生殖器官系用薬	196	222	418	185	220	405	△ 11	-5.6%	△ 13	-3.1%
外皮用薬	155	158	314	132	150	282	△ 23	-14.8%	△ 32	-10.2%
その他	1,200	1,376	2,577	1,190	1,580	2,770	△ 10	-0.8%	193	7.5%
合計	10,745	10,878	21,623	9,779	11,921	21,700	△ 966	-9.0%	77	0.4%



主要製品売上高

製品名 (百万円)	薬効分類	11/9月期			12/9月期			前上半期比		通期予想前期比	
		上半期	下半期	通期	上半期	下半期 予想	通期 予想	増減額	増減率	増減額	増減率
オイパロミン	診断用薬	3,674	3,202	6,876	2,800	3,474	6,274	△ 874	-23.8%	△ 602	-8.8%
ルナベル配合錠	ホルモン剤	984	1,286	2,271	998	1,441	2,439	14	1.4%	168	7.4%
イオパーク	診断用薬	779	777	1,557	740	965	1,705	△ 39	-5.0%	148	9.5%
HMG筋注用	ホルモン剤	454	481	935	438	470	908	△ 16	-3.5%	△ 27	-2.9%
注射用ソル・メルコート	ホルモン剤	312	302	614	323	346	669	11	3.5%	55	9.0%
デキサート注射液	ホルモン剤	291	313	604	308	361	669	17	5.8%	65	10.8%
アリプロスト注	循環器官用薬	356	399	755	305	305	610	△ 51	-14.3%	△ 145	-19.2%
フォリルモンP注	ホルモン剤	237	241	478	226	241	467	△ 11	-4.6%	△ 11	-2.3%
クリアビュー Influenza A/B	体外診断用医薬品	124	62	186	180	33	213	56	45.2%	27	14.5%
グルカゴン注射用	診断用薬	220	201	421	179	193	372	△ 41	-18.6%	△ 49	-11.6%
ブセレキュア	ホルモン剤	152	168	321	150	158	308	△ 2	-1.3%	△ 13	-4.0%
リマプロストアルファデクス錠	その他	129	155	284	144	187	332	15	11.6%	48	16.9%
ヘパリンNa注	その他	123	122	245	120	131	252	△ 3	-2.4%	7	2.9%
フルマゼニル注射液	その他	149	222	372	114	183	298	△ 35	-23.5%	△ 74	-19.9%
ピカルタミド錠	その他	103	110	214	112	136	248	9	8.7%	34	15.9%
上位15品目合計		8,087	8,041	16,133	7,137	8,624	15,764	△ 950	-11.7%	△ 369	-2.3%
全売上高に占める構成比		75.3%	73.9%	74.6%	73.0%	72.3%	72.6%				

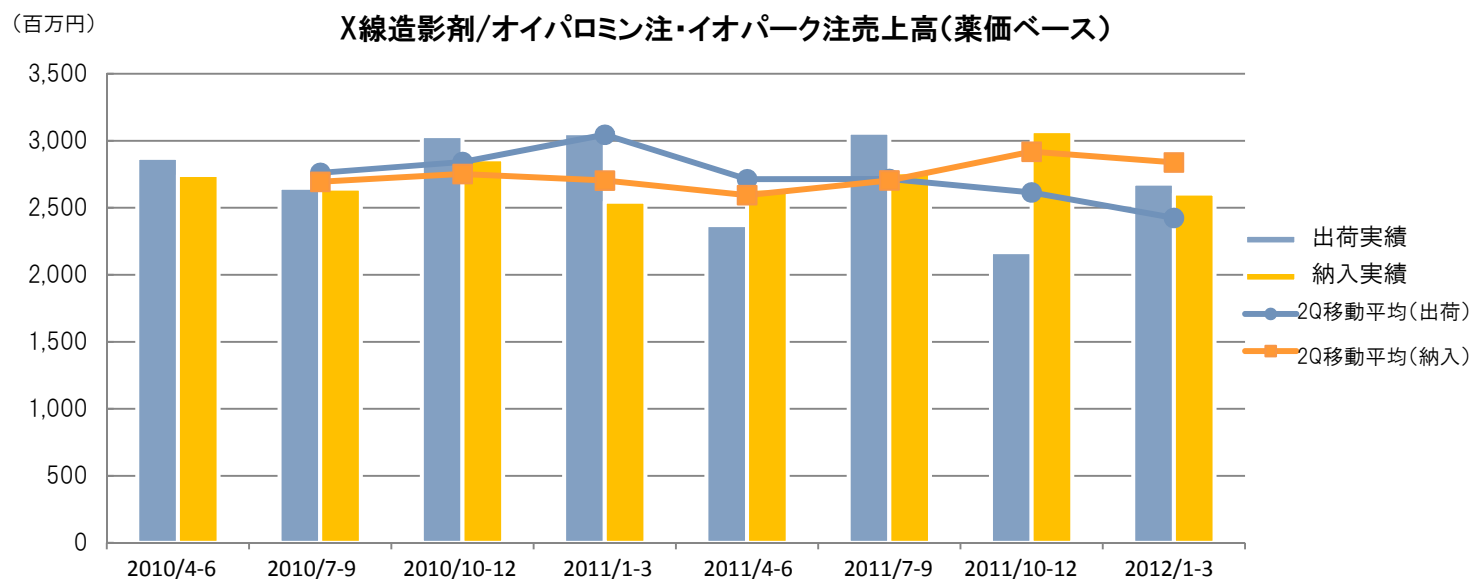
急性期医療

女性医療

X線造影剤売上げ推移

- 医療機関納入実績は順調に推移、2011/10-2012/3において流通在庫を大幅に削減

(百万円)	出荷		医療機関納入	
	売上高 (薬価ベース)	前年同期比	売上高 (薬価ベース)	前年同期比
2010/4-6	2,873		2,744	
2010/7-9	2,649		2,643	
2010/10-12	3,035		2,862	
2011/1-3	3,056		2,546	
2011/4-6	2,370	-17.5%	2,644	-3.7%
2011/7-9	3,060	15.5%	2,766	4.6%
2011/10-12	2,169	-28.5%	3,072	7.4%
2012/1-3	2,680	-12.3%	2,606	2.3%
合計	21,894		21,882	

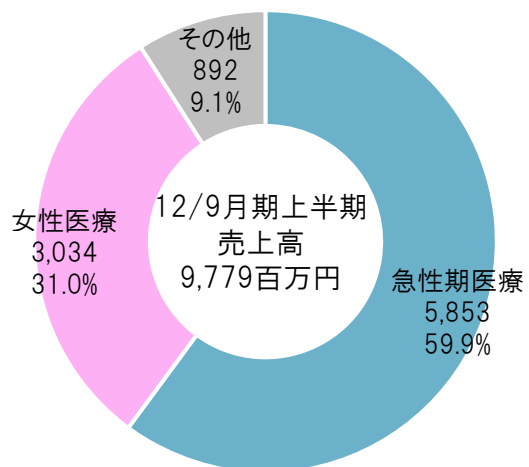


医療領域別・投与経路別売上高

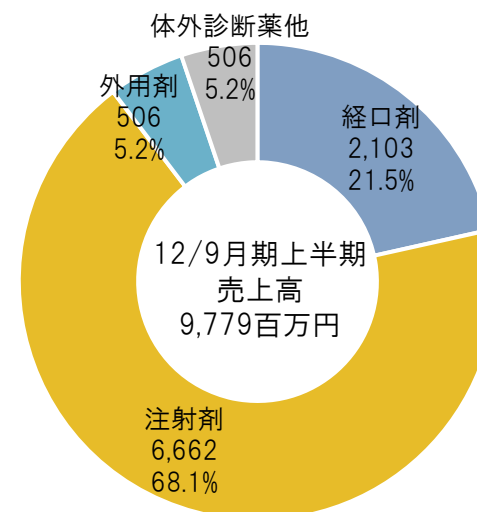
医療領域別 (百万円)	薬効分類	11/9月期			12/9月期			前上半期比		通期予想前期比	
		上半期	下半期	通期	上半期	下半期 予想	通期 予想	増減額	増減率	増減額	増減率
急性期医療	診断用薬(造影剤など)、ホルモン剤など	6,858	6,543	13,400	5,853	7,327	13,180	△ 1,005	-14.7%	△ 220	-1.6%
女性医療	ホルモン剤・体外診断薬など	3,029	3,527	6,556	3,034	3,736	6,770	5	0.2%	214	3.3%
その他	循環器官用薬・体外診断薬など	859	808	1,667	892	858	1,750	33	3.8%	83	5.0%
合計		10,745	10,878	21,623	9,779	11,921	21,700	△ 966	-9.0%	77	0.4%

投与経路別 (百万円)	11/9月期			12/9月期			前上半期比		通期予想前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期 予想	通期 予想	増減額	増減率	増減額	増減率
注射剤	7,662	7,440	15,103	6,662	8,038	14,700	△ 1,000	-13.1%	△ 403	-2.7%
経口剤	2,082	2,464	4,547	2,103	2,997	5,100	21	1.0%	553	12.2%
外用剤	547	578	1,125	506	574	1,080	△ 41	-7.5%	△ 45	-4.0%
体外診断薬 他	453	394	847	506	314	820	53	11.7%	△ 27	-3.2%
合計	10,745	10,878	21,623	9,779	11,921	21,700	△ 966	-9.0%	77	0.4%

医療領域別売上高構成比



投与経路別売上高構成比



2012年9月期第2四半期 貸借対照表概要

(百万円)	11/9月期 期末	12/9月期 第2四半期 会計期間	前期末比	
			増減額	増減率
資産の部				
流動資産	20,537	21,320	783	3.8%
固定資産	9,220	8,212	△ 1,008	-10.9%
有形固定資産	7,581	6,672	△ 909	-12.0%
無形固定資産	1,027	869	△ 158	-15.4%
投資その他の資産	610	670	60	9.8%
資産合計	29,757	29,532	△ 225	-0.8%
負債の部				
流動負債	7,588	6,929	△ 659	-8.7%
固定負債	904	1,306	402	44.5%
負債合計	8,492	8,236	△ 256	-3.0%
純資産の部				
株主資本	21,264	21,295	31	0.1%
資本金	2,447	2,447	0	0.0%
資本剰余金	3,672	3,672	0	0.0%
利益剰余金	15,145	15,176	31	0.2%
自己株式	△ 0	△ 0	0	-
評価・換算差額等	0	0	0	-
純資産合計	21,264	21,296	32	0.2%
負債純資産合計	29,757	29,532	△ 225	-0.8%

- リースバック取引に伴う未収金の回収による現金及び預金の増加 5.9億円
- たな卸資産や売上債権の増加 1.9億円

リースバック取引などによる減少 10億円

- 未払法人税などの減少 6.7億円
- 賞与引当金の減少 4.3億円
- 長期借入金の返済 13億円
- 短期借入金の増加 10億円

退職金給付引当金の増加 4.1億円

2012年9月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)	11/9月期 第2四半期 会計期間	12/9月期 第2四半期 会計期間	前期比	
			増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	450	45	△ 405	-90.0%
(主な内訳)				
税引前当期純利益	1,660	608	△ 1,052	-63.4%
減価償却費	454	602	148	32.6%
売上債権の増減額(△は増加)	△ 623	△ 222	401	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 51	△ 1,043	△ 992	-
未収入金の増減額(△は増加)	9	90	81	-
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 129	628	757	-
法人税等の支払額	△ 784	△ 822	△ 38	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,811	1,132	2,943	-162.5%
(主な内訳)				
有形固定資産の取得による支出	△ 1,678	△ 497	1,181	-
有形固定資産の売却による収入	-	1,639	1,639	-
無形固定資産の取得による支出	△ 131	△ 8	123	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,181	△ 581	△ 1,762	-149.2%
(主な内訳)				
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	1,000	900	-
長期借入れによる収入	1,300	-	-	-
長期借入金の返済による支出	-	1,300	1,300	-
配当金の支払額	△ 218	△ 281	△ 63	-
現金及び現金同等物の期首残高	3,097	5,260	2,163	69.8%
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,918	5,856	2,938	100.7%
フリー・キャッシュ・フロー	△ 1,361	1,177	2,538	-

原材料在庫の増加

リースバック取引による有形固定資産の売却に伴う収入

- 長期借入金の返済 13億円
- 短期借入金 10億円

中期ビジョン 2015年の姿

● 重点課題

『2015年－設立50年までに、既存コア事業の拡大と、次の時代につなぐ新規事業機会の具体化を実現すること』

● 中長期基本方針

『当社「らしさ」にこだわり続けること＝独自の企業価値の持続的向上を目指すこと』

● 中長期ビジョン:2015年当社の姿

□ 新たな注射剤を軸に急性期医療事業を拡大している

- ・ がんの診断/主力造影剤からがんの治療へ対象領域の拡大
- ・ 「Gxプラス」バイオ、DDS、D&Dの継続的な投入

□ 研究開発を真ん中にした事業運営体制を構築している

- ・ 研究開発を軸にして事業のラインバランスを再設計
- ・ 富山市内に新たな「研究開発センター」を立上げ

□ 女性医療のリーディング・カンパニーを実現している

- ・ 産婦人科領域のホルモン療法のすべてをサポート
- ・ ジェネリック薬とブランド薬のシナジーモデルを構築

□ 海外で事業展開、新たなGE薬競争優位を築いている

- ・ 海外での事業投資を最優先、事業エリアを拡大

2010年度⇒

2015年度既存コア事業で売上プラス100億円、新規事業/がん領域と海外事業で新たに50億円を達成している

中期ビジョンに向けた取り組み

既存コア事業の拡大

- 新注射工場棟の立上げ、主力造影剤の生産能力倍増へ
- DPC対象病院3月までの納入実績1,286病院/1,449病院
- シェアトップの経口避妊剤のジェネリックを7月に上市
- 大手製薬数社とブランド薬数品目の承継販売を協議中
- 超低用量LEPの月経困難症治療薬の承認申請を準備中

新規事業機会の具体化

- 昨年末に日本初のバイオ後続品G-CSF製剤の承認申請
- バイオ医薬品の新製造ライン/高度な無菌性保証を構築
- 抗がん剤注射剤新製造ライン導入工事3月着工、13年4月完成
- 抗がん剤/DDS製剤の自社品と導入品によりパイプライン確保
- 国内外製薬企業との戦略的アライアンス具体化を継続検討

中期経営計画

- 売上高350億円に向け基本戦略を見直し、新たな成長ドライバー獲得に本腰
- 積極的な事業投資により、新規の事業機会を創出、新たな成長路線へ転換
- 中長期の利益成長にともない、安定的かつ持続的に配当水準を引上げ

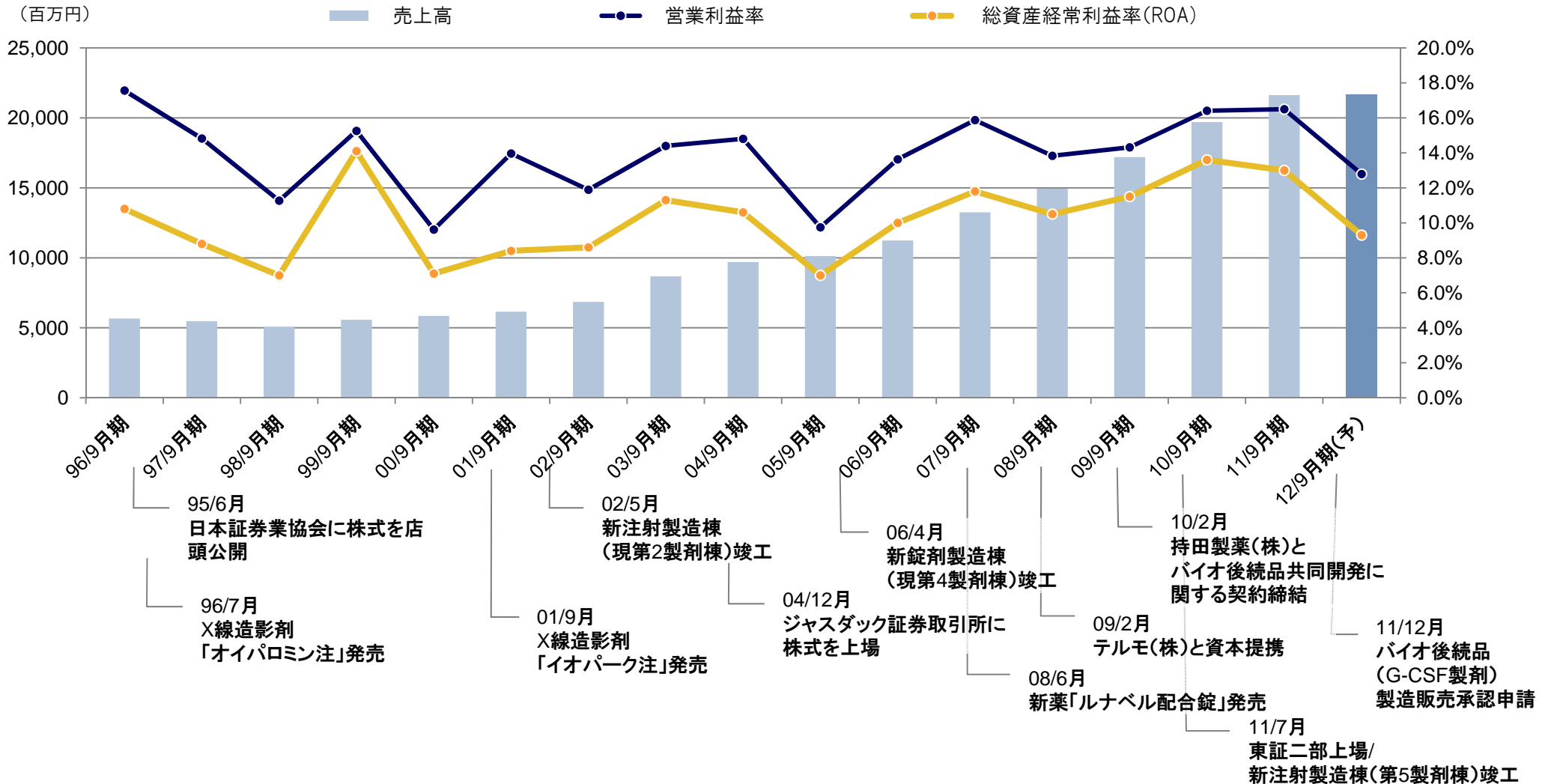
(百万円)	11/9月期 実績	12/9月期 予想	15/9月期 計画
売上高	21,623	21,700	35,000
営業利益	3,565	2,775	7,000
営業利益率	16.5%	12.8%	20.0%
経常利益	3,545	2,780	7,000
当期純利益	2,204	1,405	4,300
ROA(総資産経常利益率)	13.0%	9.3%	>15.0%
ROE	11.3%	6.5%	>15.0%
1株当たり純利益	167.63	99.50	310.30
設備投資額	3,414	3,298	
減価償却費	1,021	1,304	1,359
設備リース費	278	422	625
研究開発費	1,516	1,534	3,000
研究開発費率	7.0%	7.1%	8.6%

当社の事業概要/業績トレンド

● 経営理念

「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」

「富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する」



お問い合わせ先

富士製薬工業株式会社
管理部 経営企画課
入山 真由美

Phone 03-3556-3344

Fax 03-3556-4455

E-Mail fsk_ir@fujipharma.jp

URL <http://www.fujipharma.jp/>

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき、弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。